

2023年12月期 第2四半期決算説明

2023年8月
株式会社福田組

証券コード：1899

I .第2四半期決算

I - 1 決算概要 (連結損益) P 3
I - 2 決算概要 (セグメント別) P 4
I - 3 決算概要 (連結貸借) P 6

II .決算見通し

II - 1 通期業績予想 (連結損益) P 7
II - 2 配当・株主還元 P 8
II - 3 受注予想 P 9
II - 4 業績推移 (参考) P 10

I-1 決算概要（連結損益計算書）



売上高は前年並、コスト増により利益は減少

単位：百万円

	前第2四半期 2022/6	当第2四半期 2023/6	増減	増減率
売上高	69,517	69,890	372	0.5%
売上総利益	7,259	6,239	△1,019	△14.0%
販管費及び 一般管理費	4,675	4,703	28	0.6%
営業利益	2,584	1,535	△1,048	△40.6%
経常利益	2,725	1,703	△1,022	△37.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,901	1,086	△815	△42.9%

売上高は、受注高の増加や工事の進捗が順調に推移したことにより、前年並の水準で推移。

売上総利益は、原材料価格の高騰による建設コストの増加に加え、低採算工事の発生などが影響し、前年同期比14.0%減少。

営業利益以下は、売上総利益の減少が影響し、前年同期比△40%程度減少。

建築工事セグメントのみ増加

単位：百万円

セグメント名		前第2四半期 2022/6	当第2四半期 2023/6	増減	増減率
事業別	土木工事	30,350	27,969	△2,381	△7.8%
	建築工事	30,936	34,193	3,256	10.5%
	建設附帯	6,400	6,293	△107	△1.7%
	不動産	1,504	1,110	△393	△26.2%
	その他	325	323	△1	△0.3%
セグメント 小計		69,517	69,890	372	0.5%
全社費用		—	—	—	—
合計		69,517	69,890	372	0.5%

土木工事セグメントは前期繰越工事の減少により大幅減少、加えて建設附帯・不動産・その他の各セグメントも減少となるも、建築工事セグメントは民間工事が順調に推移し、大幅に増加。

I-2 決算概要（セグメント別営業利益）



建築工事及び不動産セグメントが大きく減少

単位：百万円

セグメント名		前第2四半期 2022/6	当第2四半期 2023/6	増減	増減率
事業別	土木工事	928	1,047	118	12.7%
	建築工事	1,533	567	△965	△63.0%
	建設附帯	△208	△139	69	△33.1%
	不動産	374	116	△257	△68.8%
	その他	34	21	△12	△36.7%
セグメント 小計		2,661	1,613	△1,048	△39.4%
全社費用		△77	△78	0	0.2%
合計		2,584	1,535	△1,048	△40.6%

土木工事及び建設附帯セグメントは、前年より増加したものの、建築工事・不動産・その他セグメントは減少。
特に建築工事セグメントの減少は、建設資材価格の高騰に加え、低採算工事の発生などが影響。

I -3 決算概要（連結貸借対照表）



総資産額の増加により、自己資本比率は低下

単位：百万円

	前第2四半期 2022/6	当第2四半期 2023/6	増減	増減率
流動資産	93,829	102,219	8,389	8.9%
固定資産	35,553	36,096	543	1.5%
資産合計	129,383	138,315	8,932	6.9%
流動負債	44,739	52,320	7,581	16.9%
固定負債	7,538	7,464	△73	△1.0%
負債合計	52,277	59,785	7,507	14.4%
純資産	77,105	78,530	1,424	1.8%
負債純資産合計	129,383	138,315	8,932	6.9%
自己資本比率	59.1%	56.3%	△2.8%	—

完成工事代金が順調に回収されたことにより現預金の増加、及び手持工事量増加による売上債権の増加などにより、流動資産は前年同期比8.9%増加。
手持工事量の増加により、仕入債務及び未成工事受入金残高が増加し、流動負債は前年同期比16.9%増加。
以上により、総資産額は前年同期比6.9%増加し、自己資本比率は59.1%から56.3%へ低下。

Ⅱ-1 通期業績予想【連結損益計算書】



当初業績計画値のまま、変更なし

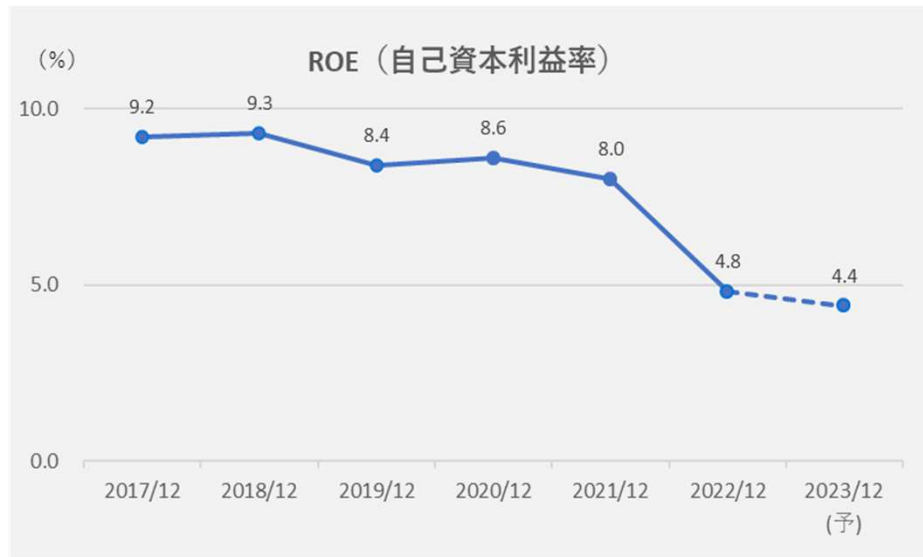
単位：百万円

	当 初 業績計画値	第 2 四半期時点 業績予想値	増減	増減率	当第2四半期 実 績	業績計画値に 対する進捗率
売 上 高	161,000	161,000	—	0%	69,890	43.4%
営 業 利 益	5,200	5,200	—	0%	1,535	29.5%
経 常 利 益	5,400	5,400	—	0%	1,703	31.5%
親会社株主に 帰属する当期純 利益	3,400	3,400	—	0%	1,086	32.0%

第2四半期実績について、売上高は業績計画値に対して43.4%の進捗率、利益は30%前後の進捗率になっているが、第3四半期以降、豊富な手持工事が順調に進み、資材価格の変動は緩やかになると見込まれる。今後も業績動向を注視してゆく。

※福田組単体の第2四半期受注実績及び受注予想についてはP9に記載

年間配当金予想 110円：当初計画から変更なし



※2016年7月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合しております。

ROEは、4%台にて推移する見通し。
 配当金は、当初計画通り1株当たり110円の予定。
 配当性向は、計画通りの安定配当を予定しており、27%台で推移する見通し。

Ⅱ-3 受注予想

順調に推移。当初業績計画値のまま、変更なし

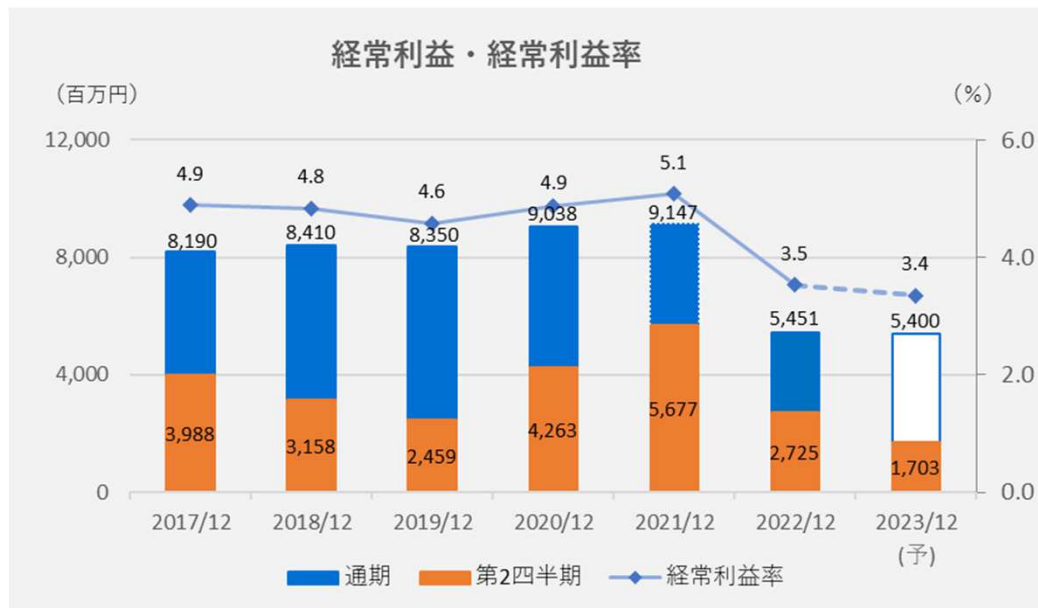
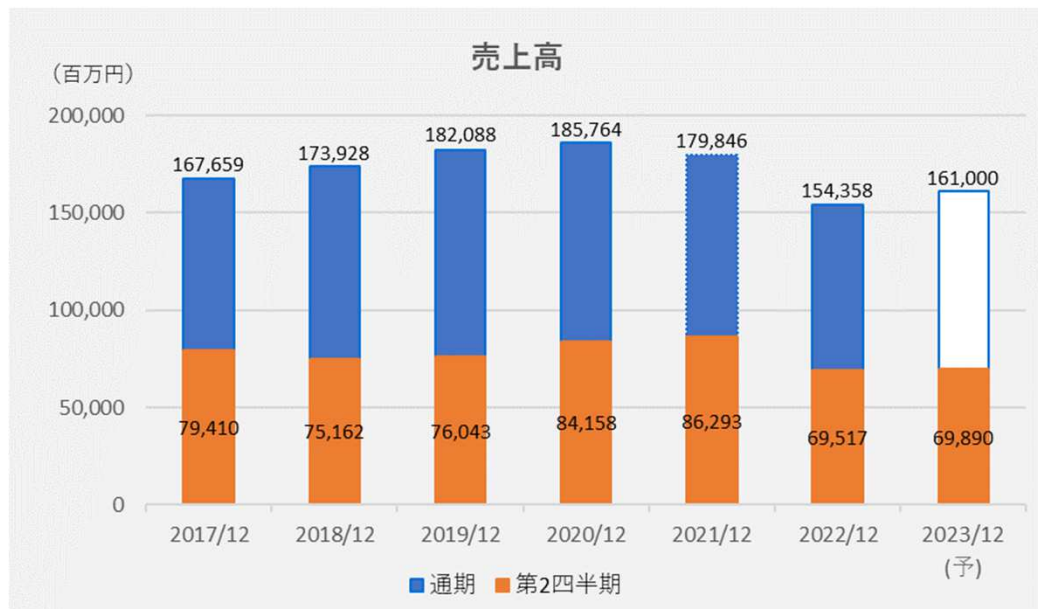
単位：百万円

	当初 業績計画値	第2四半期時点 業績予想値	増減	増減率	当第2四半期 実績	業績計画値に 対する進捗率
連結	170,000	170,000	—	0%	82,215	48.4%
単体	103,600	103,600	—	0%	49,128	47.4%



新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動が活発化してきたことが影響し需要が増加。第2四半期時点では順調に推移しているが、施工管理者不足により、受注機会の損失も生じている。

Ⅱ-4 業績推移 (参考)



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な不確定要素により異なる場合がありますことをご了承ください。

100年先も誠実



連絡先：経営企画部 経営管理室

TEL 025-266-9111 (大代表)